

校長室からのお知らせ

6月13日号 NO.10

岸和田市立浜小学校
校長 尾野 武志

土曜参観にお越しいただき ありがとうございます

先日の土曜日は、ご多用のところ多数の保護者のみなさまに参観にお越しいただき、ありがとうございます。さまざまな人権に関する学習をご覧いただきました。「人権は、それがなくては人間が人間らしく生きることができないもの」と考えています。

少し人権についてのお話をさせてください。

「ヤングケアラー」という言葉をお聞きになっておられる方も多いと思いますが、実は教員の研修会でも数多く取り上げられています。

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言います。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうこともあります。ある調査では、小・中学生の6%が「ヤングケアラー」であると言われています。クラスに1人はいるという計算になります。

しかしながら、「相談するほどの悩みではない」や「相談しても状況が変わると思わない」などの理由で隠す子どもや家族の世話をするのが当たり前という認識を持つ子どももいて、表面化しにくいという問題があります。

また、「お手伝い」と「ヤングケアラー」の違いが見分けにくい点もあります。「お手伝い」⇒しなくても特に影響はない、「ヤングケアラー」⇒ケアしなければ家族の生活が成り立たないが、見分けるポイントと言われますが、難しいところです。そのため、「ヤングケアラー」

の存在に気付くために必要なことは、「ヤングケアラーがいるかもしれない」ということを常に意識して子どもたちに向き合うことだと言われます。気になる場面を見かけましたら、学校にお知らせ願います。

